

2022年12月18日

令和4年度 人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業「本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会」がオンラインで開催され、関東・東海地方から40近くの病院の多職種チームが参加し、当院からは医師・看護師・薬剤師・言語聴覚士でチームを組み参加しました。

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を4つのステップにわけ、STEP1“本人の意思決定する力を考える”、STEP2“本人の意思の確認ができる場合の進め方”、STEP3“本人の意思を推定する”、STEP4“多職種および家族等も含め慎重に本人にとって最善の方針について合意する”のそれぞれについて事例を通して検討し、いずれのSTEPでも重要となるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）についてロールプレイングを通して学びました。

当院ではACPを広めるためのさまざまな取り組みや、意思決定のためにACPカンファレンスや多職種カンファレンスを行っています。今回の研修を各自持ち帰り、より患者さんの意向を尊重した意思決定ができるよう、スタッフへ伝達していきたいと思いました。（文責：三井恵）

